



スティーブン・キャネル
Stephen Cannell

豊橋市国際交流員
Toyohashi City Coordinator for
International Relations

豊橋市の国際交流員スティーブン・キャネルさんがこのコーナーを担当します。

第2回 サーカズム

外国語で最も難しいのは冗談を言うことだとよく聞くのではないのでしょうか。最も難しいかはわかりませんが、私も日本人を笑わせようとする場合、成功より失敗の方が確かに多いです。文化が違うから自虐的な冗談の言い方、皮肉の使い方、言葉の遊び方、全てが違います。うける冗談を言うには言語能力だけでなく、その国で育たないと得られない全体的な知識の基礎もないといけません。また、国々とのユーモアの違いは国際交流という観点からもとても面白い話題だと思います。

ある文化での全体的な知識の基礎は何かというと、風俗習慣、伝統文化、歴史、ポップカルチャー、政治、社会的な問題等々です。小さい頃から同じ社会で住まないと、どれほど追いつこうとしても必ずその知識に穴があります。(ちなみにこの穴は外国に住むことの素晴らしいところ。いつでも、どこでも、誰といても、その国のことを学ぶ機会があります。)日常生活になって、新しいことを経験して、テレビや映画を見たりニュースを読んだりするとその穴を少しずつ埋めることができ、埋めれば埋めるほど恐らく冗談のうける率も高まります。

しかしユーモアの違いは冗談のネタだけではありません。日本に住んでいるアメリカ人として何よりも難しいのはサーカズムに過度に頼ることです。アメリカやイギリス、オーストラリアなどの国々ではサーカズムを使うことがとても多いです。

サーカズムとは、人を馬鹿にするためや何かに対しての軽蔑を示すために皮肉を使う冗談の言い方です。最も簡単な使い方は、思っていることとの真逆のことを言うパターンです。例えば、格好悪くて派手なシャツを着ている友達に、「うわあ！いいシャツだな、あれに給料を使ったのは正解だったな！」と言って、恐らく周りの人も乗ってきて「そうだね、こんなにいいシャツを見たことがないな」等々言います。普通に「格好悪い！」と言うより、サーカズムを使うことでシャツへの軽蔑がより強く示せて、周りの人にもより面白くうけます。また、アメリカで「格好悪い」とだけ素直に言うとはほとんどの場合で冗談として捉えられません。もちろんサーカズムを冗談として捉えられないこともあります。ひどいでしょうか？面白いですでしょうか？どう思ってもアメリカのユーモアの基盤ですので、やめるのは難しいです。

アメリカ風のサーカズムをやめる？国際交流という目的で外国に引っ越したけど自分の文化と性格を捨てて同調する必要があるのか？と私も考えたことがあります。日本でサーカズムを使っても単にひどいと思われるだけです。本当にやめたほうがいいと思いますが、一般的に言えば、私と多くの外国人は、国際交流という目的でゲストとして外国に住んでいます。その立場から外国人としての視点、文化、性格等を共有すべきなのではないか？周りに溶け込むために同調するのはそれに逆らうのではないか？それとも溶け込むことも国際交流の一環なのではないか。皆様はどう思いますか。



世界各国の出身者が月替わりで出演、
出身国についてお話す番組!!

とよはし・サ・ワールド

【放送日時】 毎週火曜日 12:45~13:00
毎週土曜日 12:45~13:00(再放送)
【パーソナリティ】 渡辺欣生

スマホで聴こう! TEE5-843FM
[URL] www.843fm.co.jp

株式会社 エフエム豊橋 〒440-8543 豊橋市小畷町596番地 TEL.0532-75-0840

うまいもんや 鯛松

Umaimonya TAIMATSU

40名様までご利用頂ける
宴会場もございます。
歓送迎会、慶事のお集まりに
ご利用下さい。

〒440-0881 豊橋市広小路2丁目24
TEL (0532) 52-8601

■営業時間 / 17:00~22:00 (L.O. 21:00)
■定休日 / (日・祝) 予約のみ営業